

令和4年

こどもの本

-児童図書モデルリスト-



鹿児島県立図書館

目 次

本書を利用される方に……………	1
幼児の本……………	2
小学校低学年の本……………	6
小学校中学年の本……………	9
小学校高学年の本……………	12
中学生の本……………	15
指導者の本……………	18

凡 例

1 図書の掲載順

幼児，小学校低学年，小学校中学年，小学校高学年，中学生・指導者の段階ごとに，請求記号順に載せてあります。

2 出版に関する事項

令和3年12月現在です。本の価格は本体価格を掲載してあります。購入するときは消費税が別途加算されます。

3 請求記号

「日本十進分類法 新訂9版」による鹿児島県立図書館用のものです。

本書を利用される方に

- 1 このリストは、家庭や学校、公立図書館（室）等で、子供の本を選択する際の参考資料として、鹿児島県立図書館が所蔵する図書の中から選定し、作成したものです。ほかの児童図書目録等とも併せて御利用ください。
- 2 掲載図書は、次のような観点から選定しました。
 - (1) 原則として令和3年1月から令和3年12月までに当館で受け入れた図書であること。
 - (2) 子供の読書生活を豊かにし、人間形成を図ることのできる図書であること。年齢層に応じた観点は次のとおりです。

幼 児	・ 子供のイメージを豊かにさせ、本を手にする喜びや楽しさを味わわせるもの ・ 読み聞かせに適した本、リズム感のある言葉やきれいな絵の本など
小学校低学年	・ 情景が生き生きと描かれ、心を豊かにさせるもの ・ 楽しく分かりやすい本、生活経験に近い内容の本など
小学校中学年	・ 子供の立場や生活に即して描かれ、心を豊かにさせるもの ・ いろいろなジャンルの本
小学校高学年	・ 知識を広げ、読書の楽しさや文学的な感動を味わうことができ、心を広く深くさせるもの（視野を広げるもの） ・ ストーリー性がある本、適度な分量の本など
中 学 生	・ 自他の社会生活の在り方、人としての生き方を振り返りながら、文学体験や情報獲得の喜びを味わうことができ、さらに論理的思考を育てる本

- 3 本書では、幼児・小学校（低学年・中学年・高学年）・中学生にグレードを分けてあります。これは一応の目安ですので、利用される場合は、それぞれの子供の発達段階や個性等を十分考慮してください。

なお、幼児・小学校低学年については、大人が読んで聞かせることも想定して選定しています。
- 4 指導者向けには、図書選択のための参考図書と親子読書推進のための参考図書を掲載してあります。
- 5 掲載されている図書は、鹿児島県立図書館児童文化室にあります。
- 6 このモデルリストは、鹿児島県立図書館ホームページでも御覧いただけます。
- 7 モデルリストは、昭和50年から作成しており、過去3年間のモデルリストは鹿児島県立図書館児童文化室の「研究室」で御覧いただけます。

1 あかちゃんですよ はいどうぞ



- ① うしろよしあき/文
鈴木智子/絵
- ② アリス館
- ③ 1000円
- ④ E

サルからカンガルーへ、そしてクマ、ゾウ、キリンに運ばれて、「はいどうぞ」と次の動物に渡される赤ちゃん。それぞれの動物の独特な運び方に、赤ちゃんも嬉しそう。そして最後は大好きなお母さんとお父さん。

みんなが笑顔になる楽しい絵本です。

2 おちばのねどこでおやすみなさい



- ① カレン・ジェイムソン/文
マルク・ブタヴァン/絵
石津ちひろ/訳
- ② ほるぷ出版
- ③ 1600円
- ④ E

冬がやってきました。長靴を履いた女の子が森の動物たちに「おやすみなさい」のあいさつをしにでかけたところ……。

読んでいるうちに自然と文章にリズムが生まれる、秋から冬のおはなしにぴったりな絵本です。

3 お月さんのシャーベット



- ① パク・ヒナ/作
長谷川義史/訳
- ② ブロンズ新社
- ③ 1400円
- ④ E

暑くて暑くて寝苦しい夏の夜。マンションの5階に住む班長のおばあちゃんは、暑さで溶け出したお月さんを型に入れて冷凍庫へ。停電で困っている同じマンションの住人や、月が消えて困ってしまったうさぎさん。

様々な出来事にドキドキ、わくわくしたり、人を思いやる優しさに心とんだりする一冊です。

4 おばあちゃんのたからもの



- ① シモーナ・チラオロ/作
福本友美子/訳
- ② 光村教育図書
- ③ 1400円
- ④ E

「おばあちゃん、ここには なにかが しまっているの？」孫娘がおばあちゃんに尋ねます。おばあちゃんの顔のしわには、いままでのうれしかったこと、悲しかったことなどの大事な思い出がすべてしまっているというのです。

心あたたまる一冊です。

5 きょうものはらで



- ① イブ・ジャック・キーツ/え
石津ちひろ/やく
- ② 好学社
- ③ 1600円
- ④ E

ホタルやバッタ、カメにビーバー。野原に暮らす生きものの親子の生き生きとした描写とテンポのよい文章。

アメリカの伝統的な数え歌がもとになったお話に、美しい絵が合わさって、親子で何度も読み返したくなる楽しい絵本です。

6 このかみなあに？ トイレットペーパーのはなし



- ① 谷内つねお/さく
- ② 福音館書店
- ③ 1500円
- ④ E

この紙、それは「トイレットペーパー」。トイレットペーパーはトイレで使うだけ？

いえいえ、もっと色々なことが出来るんです。トイレットペーパーの秘密に迫る写真絵本。

こどもの「？」や好奇心を刺激する一冊です。

7 ジョナスのかさ



- ① ジョシュ・クルート/文
アリーン・ライアン・イーウェン/絵
千葉茂樹/訳
- ② 光村教育図書
- ③ 1500円
- ④ E

ジョナス・ハンウェイにはきれいなものがありました。それは、雨にぬれること。イギリス紳士が傘をさすのはありえないと思われていたロンドンで、一人傘をさして歩いたジョナス。

人と違うことをして奇妙に思われても、自分をつらぬく強い心を教えてくれます。

8 すなのおしろ

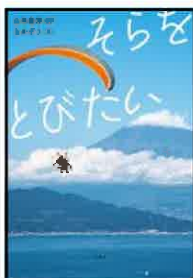


- ① エイナット・ツアルファティ/作
青山南/訳
- ② 光村教育図書
- ③ 1500円
- ④ E

夏の海に来た女の子。浜辺で女の子が作り始めた砂のお城は、普通のお城ではありません。部屋がいくつもあって、博物館に図書室、メリーゴーラウンドまであるお城。

子供たちに育みたい想像力が、どんどん膨らむ楽しい絵本です。

9 そらをとびたい



- ① 山本直洋/写真
ちかぞう/文
- ② 小学館
- ③ 1500円
- ④ E

ノルウェーのフィヨルド、日本の高い山々。ページをめくるごとに、息をのむ壮大な写真の連続。山本さんがモーターパラグライダーで上空から撮影した写真には、ドローンで撮った写真にはない迫力を感じます。

大空に飛び立ち、いつもとは違う景色に爽快感を感じるこの一冊です。

10 だんごむしコーロコロ



- ① 海野あした/作
- ② アルファポリス
- ③ 1100円
- ④ E

小さなだんごむしはまあるくなってコーロコロ、冒険にでかけます。途中かえるやくもなどいろいろな生きものと出会います。ところが、体にガムがくっついてしまい……。

カラフルな色使いと繰り返しのリズムで、一緒に冒険を楽しめる絵本です。

11 つばきレストラン



- ① おおたぐろ まり/さく
- ② 福音館書店
- ③ 900円
- ④ E

つばきは寒い冬の季節に咲く花です。甘い蜜をたっぷりたくわえ、つばきレストランが今年も開店しました。メニューはひとつだけ。このレストランにやってくるのは、どんなお客様でしょう。

子供の「ふしぎ」を育てる科学絵本です。

12 でんしゃとしゃかん



- ① 深山さくら/文
はせがわ かこ/絵
- ② 文研出版
- ③ 1300円
- ④ E

広い団地の中の公園に運ばれてきた電車。古くなって線路は走れなくなったけれど、たくさんの方の手によって、図書館として生まれ変わります。

「電車が図書館になったら楽しいな」という想像が実現した、実話がもとになった楽しい絵本です。

13 どうしてなの?



- ① フラン・ピンタデーラ/文
アナ・センデル/絵
星野由美/訳
- ② 偕成社
- ③ 1800円
- ④ E

マリオはお母さんに聞いてみました。「ぼくたち どうしてなの?」、悲しいとき?、怒ったとき?、不安なとき?、涙はどんなときにこぼれるのでしょうか。お母さんはマリオに何と答えたのでしょうか。

自分自身を見つめる大切さに気付くとともに、心を豊かにする絵本です。

14 なつのおうじゃ おにやんま



- ① 谷本雄治/文
サトウマサノリ/絵
- ② 文溪堂
- ③ 1500円
- ④ E

おにやんまはトンボの仲間。夏の空をゆうゆうと飛び、メスを探しに出かけます。おにやんまは夏の王者。みんなが恐れるオオスズメバチもやっつけます。メスを見つけたおにやんま。2匹は一緒にまいあがり、メスは川底に卵を産みます。

おにやんまの生態がよく分かる大迫力絵本です。

15 ねこはすっぽり

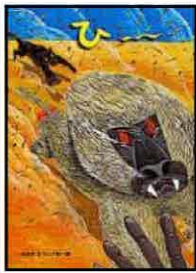


- ① 石津ちひろ/文
松田奈那子/絵
- ② こぐま社
- ③ 1000円
- ④ E

ねこはごろりーんと寝っ転がったり、のびーんとからだを伸ばしたり、ふわわーんとあくびをしたり。

何気ない日常の中で、ねこの自由に気ままな様子をシンプルでかわいらしい絵と楽しいオノマトペで表現しています。読み聞かせにもおすすめです。

16 ひー



- ① りとうようい/作・絵
- ② 鈴木出版
- ③ 1300円
- ④ E

一頭の黒ヒョウがヒヒを狙ってとびかかりました。たまらずヒヒは「ひーっ」と叫んで逃げだします。川越え、空飛び、たくみにヒョウから逃げるその結果や如何に？

キリンやフラミンゴ、ゾウなど色彩豊かに描かれる動物たちの絵も印象的な一冊です。

17 ひとがつくったどうぶつの道



- ① キム・ファン/文
堀川理万子/絵
- ② ほるぷ出版
- ③ 1500円
- ④ E

人の暮らしを便利にするために作られる高速道路やダム。でも、そこには動物たちが使っていた通り道があったのです。被害に遭う動物たちをなくそうと、「どうぶつの道」をつくる心優しい人たち。

人と動物の共生について、動物の立場で書かれた絵本です。

18 ふかふか



- ① おのかつこ/さく・え
- ② 国土社
- ③ 1500円
- ④ E

「ねえねえおかあさん」。こぐまは、穴のあいた落ち葉も小鳥も水たまりも、気になってしかたがありません。でも一番好きなのは、ふかふかした毛皮のお母さんにくっついてること。

くまの親子のやりとりに心和む絵本です。

19 ぷっくりえんどうまめ



- ① いわさ ゆうこ/さく
- ② 童心社
- ③ 1100円
- ④ E

畑でのびのび育つえんどうまめ。きれいな花が咲いたあと、さやができてぷっくりとしたえんどうまめになる様子を丁寧に描いています。

そらまめやグリーンピース、きぬさやなどたくさんの豆を紹介していて読み聞かせにもぴったりの科学絵本です。

20 ぼくはひとりで



- ① フン・グエン・クアン、
フィン・キム・リエン/作・絵
ダフネ・リー/原書編集
はっとりまこ/訳
- ② 富山房インターナショナル
- ③ 2000円
- ④ E

道も畑も水の下に隠れてしまう、雨の季節がやってきました。これから”ぼく”は小舟を浮かべて、初めてのひとり旅へ出発です。マングローブの森、空を渡る鳥、水牛の群れ……。ぼくはどこへ向かっているのでしょうか。

ベトナム南東部を舞台にした絵本です。

1 奄美の道で生き物みつけた



- ① 松橋利光/写真
木元侑菜/文
- ② 新日本出版社
- ③ 1500円
- ④ E

奄美大島の道を歩いてみると、たくさんの貴重な生きものに出会います。飛び出してくる「アマミトゲネズミ」や、トイレに出てくる「アマミシカワガエル」、自動販売機にはりついている「ハロウエルアマガエル」など他にもたくさん。さあ一緒に、奄美の生き物たちに会いに行く旅に出発しよう！

2 うみといきる



- ① ふくい てる/作
いとう 良一/絵
- ② 金の星社
- ③ 1300円
- ④ E

美しく、大きな恵みをもたらしてくれる海は私たちにとって身近な存在です。しかし、時に津波という脅威をもたらします。そのために、私たちはどのように備えておけばよいのでしょうか。世代を超えて伝えていきたいメッセージです。

3 学校が大好きアクバルくん



- ① 長倉洋海/著
- ② アリス館
- ③ 1400円
- ④ E

アフガニスタンの山の中の学校。みんな明るく真剣に学んでいます。その中でも一本の鉛筆を大事そうにしてノートをとっている一年生のアクバルくんは印象的。恵まれない環境の中でも未来に飛び立とうとしている子供たちがいることがよく分かる一冊です。

4 きつねの窓



- ① 安房直子/作
いもとようこ/絵
- ② 金の星社
- ③ 1400円
- ④ E

青いききょうの花畑で子ぎつねに出会ったぼく。子ぎつねの青く染めた指で作ったひし形の窓から見えたものは鉄砲で撃たれてなくなった母ぎつねでした。ぼくの青い指の窓からは昔好きだった女の子が。いつまでも大切にしたいと思ったのに、うっかり洗ってしまったぼくの指。不思議で、もの悲しいお話です。

5 木は何を見てきたの？



- ① シャーロット・ギラン/文
サム・アッシャー/絵
高部圭司/訳
- ② 化学同人
- ③ 1900円
- ④ E

何百年も生きてきた老木のならのき。ならのき自身もどんぐりから老木になるまで歴史を繰り返しますが、目を見張る世界の変化もずっと見てきました。わたしたちの周りにもこれまでにどんな出来事があって、今があるのか考えてみたいと思わせてくれます。

6 きょうはおかねがないひ



- ① ケイト・ミルナー/作
こでら あつこ/訳
- ② 合同出版
- ③ 1600円
- ④ E

ママはいつも一生懸命に働いています。それでも、今日は親切な人の力を借りて、フードバンクへ行く日。あれも食べたいし、こんなものもほしいけど……。

生きていくためにお金は大事です。しかし、もっと大事なことがあることを教えてくれる一冊です。

7 せかいでさいしょにズボンをはいた女の子



- ① キース・ネグレー/作
石井睦美/訳
- ② 光村教育図書
- ③ 1500円
- ④ E

昔々と言っても150年くらい前、ズボンは男の子のはくものでした。メアリーは、ズボンが男の子に限定されることに疑問をもち、スカートやドレスよりどんなに活動的で素敵かを実践しました。メアリーのおかげで現在ズボンは男女を問わず愛用されています。

8 ぼくは川のように話す



- ① ジョーダン・スコット/文
シドニー・スミス/絵
原田勝/訳
- ② 偕成社
- ③ 1600円
- ④ E

ぼくには、うまく言えない音があります。流ちょうに話すことは難しくて、みんなに笑われてしまいます。でも、お父さんはぼくの話し方を川のようにだと言いました。吃音があっても、気負わず、たゆまず流れる川のように。

自分と向き合う勇気をもらえる一冊です。

9 みどりのあらし



- ① 高山なおみ/作
中野真典/絵
- ② 岩崎書店
- ③ 1600円
- ④ E

ゆうすけ君にいつもいじめられているぼく。いつものように机をけられた学校の帰り道、緑の嵐の中でゆうすけ君が誰かにいじめられている夢を見ました。いつもいじめられているのにぼくはゆうすけ君を助けます。

迫力のある絵に、力をもらえる一冊です。

10 みどりバアバ



- ① ねじめ正一/作
下田昌克/絵
- ② 童心社
- ③ 1400円
- ④ E

みどりバアバはお花が大好きで、コロツケづくりが得意です。でも、みどりバアバは入院して、帰ってきませんでした。親しい人が亡くなることはとても悲しいことです。

親しい人との思い出が自分を強く大きくしてくれることを教えてくれる一冊です。

11 みんなとおなじくできないよ



- ① 湯浅正太/作
石井聖岳/絵
- ② 日本図書センター
- ③ 1600円
- ④ E

ぼくにはかわいい、でも、ちょっとかわった弟がいます。弟はときどき、悲しい目でいます。「みんなとおなじくできないよ」と。そのたびに、ぼくはどうしてあげればよかったんだろうと考えて、ぼくの心はぐちゃぐちゃになります。

そんなときこそありのままでいることが大事だということを教えてくれる一冊です。

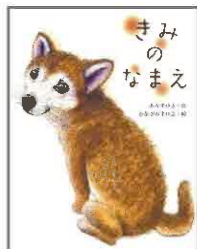
12 わたしたちの森



- ① ジアナ・マリノ/作
小手毬るい/訳
- ② ポプラ社
- ③ 1600円
- ④ E

森で起こった火事は木々を焼き、動物たちも煙に包まれました。すべてが失われたかと思われましたが、彼らは新しい芽を出した森で再び暮らし始めます。動物たちはたったひとつの大切な家に戻ってきたのです。地球もあらゆる生き物にとってたったひとつの家。大切に守っていかなければならないことを教えてくれる一冊です。

13 きみのなまえ



- ① あんずゆき/作
かなざわまゆこ/絵
- ② 佼成出版社
- ③ 1200円
- ④ 91ア021

ぼくとお母さんは、いつも一匹で公園にいる犬を飼うことを決心しました。最初はなかなかつきませんでした。ようやく一緒に散歩できるようになったとき、ぼくとお母さんはこの犬の秘密を知って驚きました。

どんなに孤独そうに見えても、決して一人ではないことに気付かせてくれる一冊です。

14 つくしちゃんとおねえちゃん



- ① いとうみく/作
丹地陽子/絵
- ② 福音館書店
- ③ 1200円
- ④ 91イ021

お姉ちゃんは、ちょっといばりんぼうだし、いじわるだし、おこりっぽい。でも、負けずらいで誰よりも努力していて、もの知りで、ピアノが上手で、とっても優しいことをつくしちゃんは知っています。

姉妹の絆を感じる一冊です。

15 ねこのふくびき



- ① 木内南緒/作
よしむらめぐ/絵
- ② 岩崎書店
- ③ 1100円
- ④ 91キ021

みゆちゃんは小学1年生。ある日、家で飼っていた猫のルークが、「ねこのふくびき」にあたり、人間の姿になってやってきて、一緒に学校に行くことになりました。でも、ルークは猫なので、それはもう大変。でも、みゆちゃんは、もっともっと大事なことに気付くことができました。ペットや家族のすばらしさに気付ける一冊です。

1 青のなかの青



- ① フィオナ・ロビンソン/さく
せな あいこ/やく
- ② 評論社
- ③ 1600円
- ④ E

19世紀のイギリスの植物学者、アンナ・アトキンスは「世界で最初の女性写真家」として、日光を利用して青と白で対象物を写しとる手法で写真を残しました。ほとんどの女性が科学教育を受けられなかった当時の社会で、どのように自分の世界を切り拓いていったのかが、美しい絵とともに描かれています。

2 赤いスパゲッチ



- ① 藤川幸之助/さく
寺田智恵/え
- ② クリエイツかもがわ
- ③ 1800円
- ④ E

文通のたびに新しい手作りのしおりをくれたおばあちゃん。しかし、ある時から、しおりは同じものばかりになりました。さらに、遊びに行っても私を覚えていない様子で……。

若年性認知症を患ったおばあちゃんと栗ちゃんの心の交流を描いた作品です。

3 世界でいちばん優しいロボット



- ① 岩貞るみこ/文
片塩広子/絵
- ② 講談社
- ③ 1400円
- ④ 28イ021

孤独を癒やす、分身ロボットを開発したロボット博士。東京湾の未来のために魚をにがす漁師さん。地球の裏側へ笑顔を運ぶチョコレート屋さん。自分のためだけでなく、みんなのためにと熱意を傾けた3人を筆者が徹底取材して書き上げたノンフィクションです。

4 カラスのいいぶん

人と生きることをえらんだ鳥



- ① 嶋田泰子/著
岡本順/絵
- ② 童心社
- ③ 1200円
- ④ 48シ020

大きくて怖い、ごみをあさるなど、カラスには悪いイメージがつきものですが、本当に悪い鳥なのでしょうか。カラス嫌いの作者がカラスの弱みを探し出そうと観察し続けて、気付いたことが沢山書いてあります。人の近くで生きることを選んだカラスの言い分を知ること、イメージが変わるかもしれません。

5 空を飛ぶミジンコのなぞ



- ① 星 輝行/写真・文
- ② 少年写真新聞社
- ③ 1700円
- ④ 48ホ020

水たまりに突然現れて、また姿を消してしまふ小さなミジンコ。ミジンコは肉眼で観察しにくい、身近な生き物と実感するのは難しいかもしれません。そのふしぎな生き方に特殊カメラで迫り、観察や実験を通してミジンコのなぞを解き明かす一冊です。

6 くじらの子



- ① 石川 梵/写真と文
宮本 麗/写真
- ② 少年写真新聞社
- ③ 1800円
- ④ 66イ021

インドネシアのレンバタ島にあるラマレラ村では、モリ1本でくじらを捕る伝統捕鯨を営み、長い間、村の暮らしを支えてきました。「くじらとり」の人々の生活を知ること、自然を大切にしたり、外国について興味関心をもったりできる写真絵本です。

7 登り続ける、ということ。

山に登る 学校を建てる 災害とたたかう



- ① 野口 健/著
- ② 学研プラス
- ③ 1400円
- ④ 78ノ021

世界7大陸の最高峰に登頂した野口さんは、過酷な登山を続けながら、ネパールでの学校建設や植林、国内外での震災の復興支援に取り組んでいます。なぜ困難に挑み続けることができるのか。野口さんのゆるぎない信念が込められた作品です。

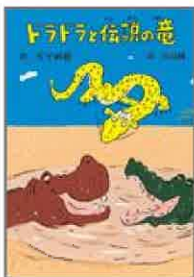
8 南極犬物語



- ① 綾野まさる/著
くまおり純/絵
- ② ハート出版
- ③ 1200円
- ④ 91ア020

世界中が注目した日本の“南極犬ゾリ隊”の奇跡の実話です。鎖につながれたまま、地球で最も寒い南極大陸に残された15頭の犬たち。1年もの間、南極に置き去りにされながら、奇跡的に生きのびたカラフト犬タロ、ジロの強い生命力に心打たれる物語です。

9 ドラドラと伝説の竜



- ① 片平直樹/作
高畠純/絵
- ② 文研出版
- ③ 1300円
- ④ 91カ021

ドラドラは竜の子供。雨を降らせることが苦手で、「ぼくにはできやしない」と思っています。しかし、ひょんなことで出会った、ある竜たちのおかげで、少しずつ雨を降らせることができるようになっていきます。一步を踏み出す勇気をくれる一冊です。

10 嘘吹きネットワーク



- ① 久米絵美里/著
- ② PHP研究所
- ③ 1400円
- ④ 91ク021

正義感の強い学級委員の主人公は、自分の学校に広まった「嘘」を暴くため八吹写真館を訪れます。そこで出会った少年は、嘘と真実を見分ける「嘘吹き」という能力をもっていて……。SNS上にある嘘と真実、そしてそれを見極める術は？今、この時代を生きる子供たちに考えるきっかけを与える一冊です。

11 ぼくのとうさんわたしのおかあちゃん



- ① さくら文庫/作
- ② フロネーシス桜蔭社
- ③ 1200円
- ④ 91サ020

本書は、二人の子供が自分の親の仕事について綴った詩をもとに書かれた、二つの作品で構成されています。お互いを思いやる日常のひとこまを描いた話は、笑いと涙の中に、親へのエールであふれています。職業を意識することで、未来の自分や人々のつながりについて考えるきっかけにもなる作品です。

12 ごいっしょさん



- ① 松本聰美/作
佐藤真紀子/絵
- ② 国土社
- ③ 1400円
- ④ 91マ020

妖怪<ごいっしょさん>。誰もいないと思うのに、体に何かが当たったなと感じたら「ごいっしょさん、ごいっしょさん、ごいっしょに」と唱えると、<ごいっしょさん>がそばにいてパワーをくれます。<ごいっしょさん>と4年1組の友情物語。勇気が必要な時、あなたも唱えてみたくなるはずです。

13 キケンな修学旅行 ぜったいねむるな！



- ① ジェニファー・キリック/作
橋本恵/訳
おとないちあき/装画・挿画
- ② ほるぷ出版
- ③ 1500円
- ④ 93キ021

修学旅行でクレーター湖に来たランスたちを待ち受けていた不可解な出来事。しかも、眠ると別のものに変身させられてしまうようで……。ランスたち5人は、迎えが来るまで力を合わせて敵と戦うことを誓います。合い言葉は「ぜったいにねむるな！」。イギリスで人気を博したSFホラーサスペンスです。

14 チョコレートタッチ



- ① パトリック・スキーン・キャトリング/作
佐藤淑子/訳
伊津野果地/絵
- ② 文研出版
- ③ 1300円
- ④ 93キ021

ジョンは、ごはんやおかずは残しておかしばかり食べている男の子です。ある日、拾ったコインで買ったチョコレートを食べたところ、不思議なことが起こり始めました。ジョンはどうになってしまうのか。そして最後にどういう決断を下すのか。誰もが好きなお菓子が引き起こす、ハラハラドキドキのお話です。

15 ゴリランわたし



- ① フリーダ・ニルソン/作
よこのなな/訳
ながしまひろみ/絵
- ② 岩波書店
- ③ 1700円
- ④ 94二021

9歳まで施設で育ったヨンナは、ある日ゴリラの養子になりました。初めはおびえていたヨンナも、一見ぶっきらぼうなゴリラのやさしさに気が付きます。ところが、土地開発計画が二人の生活をおびやかすことに……。目には見えないものの大切さを、ユニークに描いた物語です。

1 秋



- ① かこさとし/文・絵
- ② 講談社
- ③ 1600円
- ④ E

2018年に亡くなった、かこさとしさん。『だるまちゃん』シリーズなど楽しい多くの絵本を届けてくれました。この絵本は遺品整理中に見つかった紙芝居が元になっています。戦時中、高校生だったかこさんの体験から、戦争に対する考え方や怒りが描かれています。

平和について考えるきっかけとなる一冊です。

2 わたしは大統領の奴隷だった

ワシントン家から逃げ出した奴隷の物語



- ① エリカ・アームストロング・ダンバー & キャサリン・ヴァン・クリーヴ/著
渋谷弘子/訳
- ② 汐文社
- ③ 1600円
- ④ 28タ020

ワシントン大統領が就任した1789年。この頃から奴隷制をめぐる議論が激しくなり始め、白人も黒人も奴隷制に疑問を持ち、行動を起こし始めます。大統領の優秀な奴隷だったオーナはある日ひっそりと大統領邸から脱出しました。

多くの困難を乗り越えて自由を手にした実在の人物のお話です。

3 ふつうに生きるって何？

小学生の僕が考えたみんなの幸せ



- ① 井手英策/著
- ② 毎日新聞出版
- ③ 1400円
- ④ 36イ021

日々の暮らしの「ふつう」に意味を見つけることって意外と難しいものです。しかしこの本にはその答えにつながるヒントがたくさん散りばめられています。

日常の「ふつう」の延長線上に幸せがあるということを教えてくれる素敵な本です。

4 千曲川はんらん

希望のりんごたち



- ① いぶき彰吾/文
- ② 文研出版
- ③ 1400円
- ④ 36イ021

2019年、長野県を襲った台風は、多くの被害をもたらしました。千曲川のはんらんなど、リンゴを育てていた家で育った高校生の少女から見た水害の様子、地域の人々、ボランティアと協力。

被災から力強く立ち上がっていく姿が描かれています。

5 カワネズミを見てみたい！

水にもぐる銀色の小動物の研究



- ① 森本祈恵, 小林朋道/著
- ② くもん出版
- ③ 1400円
- ④ 48モ021

高校生で一冊の本に出会い、生き物の研究をしたいと進路を決めた森本さん。念願の大学に入学後、ユニークで厳しい教授の下で、様々な生き物と出会い、学びを深めていきます。幻の生物「カワネズミ」を研究対象に決めた後の研究の難しさ、苦労、工夫の数々。

目的をもって学ぶことの楽しさが込められた作品です。

6 ケンさん、イチゴの虫をこらしめる
「あまおう」栽培農家の挑戦！



- ① 谷本雄治/著
- ② フレーベル館
- ③ 1500円
- ④ 62タ020

おいしいイチゴを栽培するために、何度も失敗をしながら、失敗を次の挑戦のヒントにしていくケンさん。ダニをもってダニを制する「天敵農法」など自然の仕組みを取り入れた栽培法もユニークです。

若き農業経営者のチャレンジを描いたノンフィクションです。

7 響け、希望の音
東北ユースオーケストラからつながる未来



- ① 田中宏和/著
- ② フレーベル館
- ③ 1500円
- ④ 76タ020

東日本大震災後、坂本龍一さんの呼びかけで発足、被災地域の小学生から大学生で構成されたオーケストラ。楽器が失われた学校、家族を亡くした子供、団員それぞれ異なる被災状況や事情を抱えながら、心をひとつにして、音を紡ぎ、メロディを奏でます。

8 青く塗りつぶせ



- ① 阿部夏丸/作
酒井 以/絵
- ② ポプラ社
- ③ 1500円
- ④ 91ア021

人口500人の島で暮らす小学6年生の6人が、同級生一人をピンチから救い出すために、海で集めたものや生き物のネット販売を始めます。周りの大人を巻き込んだり、助けられたりしながら、それぞれが成長していく物語です。

海の生きものに会いたくなるような一冊です。

9 天の台所



- ① 落合由佳/著
- ② 講談社
- ③ 1400円
- ④ 91オ021

お母さんのいない小学生の天には、温かくておいしい食事を作ってくれるおばあちゃんがいました。しかしおばあちゃんも亡くなってしまいました。天は淋しくなった台所を復活させるため、料理上手な評判のおばさんに弟子入りします。

料理を通じて家族を考える物語です。

10 サステナブル・ビーチ



- ① 小手鞠るい/作
カシワイ/絵
- ② さ・え・ら書房
- ③ 1400円
- ④ 91コ021

モヤモヤした気分で始まった小学校最後の夏休み。その夏休みに、主人公七海は、「サステナブル・ビーチ」という小部屋と一人の少女に出会い、たった一つしかない海を守るために、今、自分にできることを始めます。

SDGsについても考えさせられる一冊です。

11 Fができない



- ① 升井純子/作
- ② 文研出版
- ③ 1500円
- ④ 91マ021

なかなか思いを話すことができず、クラスで浮いてしまう主人公は、自分を変えるためにギターに挑戦します。試行錯誤する中で、ギターのF、さらに隠されたFも克服していきます。

克服したい目標がある人にとってヒントとなる一冊です。

12 りぼんちゃん



- ① 村上雅郁/作
- ② フレーベル館
- ③ 1400円
- ④ 91ム021

「世の中には災いというおおかみがいる。」

主人公は信頼する友達を救うため、おおかみと向き合うこととなります。

おおかみと向き合う主人公の行動や成長に、大きな気付きや感動を得ることができる一冊です。

13 妖怪コンビニで、バイトはじめました。



- ① 令丈ヒロ子/著
- ② あすなろ書房
- ③ 1400円
- ④ 91レ021

日々の生活に少し疲れた中学生の主人公は妖怪コンビニでバイトすることになります。

幽霊や死にたい人、靈感のある人だけに見えるコンビニで出会う仲間と、生きる方向に心を合わせて進んでいく物語です。

今の時代を反映した内容にも興味を感じる一冊です。

14 ぼくと石の兵士



- ① リサ・トンプソン/著
榎田理絵/訳
- ② PHP研究所
- ③ 1400円
- ④ 93ト020

オーエンの秘密は戦没者記念庭園のベンチに座っている石の兵士と話すこと。毎日のように学校での出来事やお母さんのことなどいろいろな話を聞いてもらいます。そんなある日、庭園全体を作りかえることになり……。

心に痛みを抱える男の子の勇気ある行動のお話です。

15 春のウサギ



- ① ケヴィン・ヘンクス/著
原田勝, 大澤聡子/訳
- ② 小学館
- ③ 1400円
- ④ 93ハ021

小さい頃にお母さんを亡くしたアミーリアは、お父さんと会話が少なく、微妙な関係。気持ちが落ち着かないときは、通っている陶芸工房で作品を作ります。ある日のこと、工房の近くで素敵な女性を見かけます。彼女を見るときなぜか記憶にもないお母さんのことを思います。

悲しみと向き合い、家族について考える作品です。

1 極(エッセイ)アウトプット 「伝える力」で人生が決まる



- ① 樺沢紫苑/著
- ② 小学館
- ③ 900円
- ④ 00カ021

様々なことを学ぶため、読んだり聞いたり、インプットすることも大切ですが、入ってきた情報を整理し、伝えること、つまりアウトプットする力を身に付けることには、あなたの人生を変えてしまうほどの力があります。

コミュニケーションが苦手、話すのが苦手という人にもぜひ読んでほしい一冊です。

2 しれっと逃げ出すための本。



- ① ヨシダナギ/著
- ② PHP研究所
- ③ 1300円
- ④ 15ヨ021

小さい頃からアフリカに行きたいと思い続けてきた著者。アフリカでの経験が彼女の生き方や考え方を考えるきっかけとなります。彼女がアフリカの生活で得たものとは何か。

自分が悩んでいるとき、行き詰まったときにヨシダ氏がそっと「大丈夫だよ」と励ましてくれる一冊です。

3 13歳からのレイチェル・カーソン



- ① 上遠恵子/監修
- ② かもがわ出版
- ③ 1600円
- ④ 28カ021

名著『沈黙の春』の著者レイチェル・カーソン。彼女はどのような生涯を歩んできたのでしょうか。彼女が環境問題に関心を向けたきっかけとは。レイチェル氏の死後、世界が環境に配慮した生活を求め始めました。彼女が訴えてきたこととは何だったのでしょうか。彼女の人生を覗いてみませんか？

4 武器ではなく命の水をおくりたい 中村哲医師の生き方

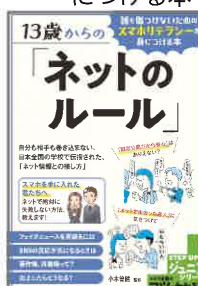


- ① 宮田律/著
- ② 平凡社
- ③ 1400円
- ④ 33ミ021

40年以上も戦争が続くアフガニスタン。戦争のために莫大な金額の武器を買い続けるこの国の人々を助けるために、中村医師は「武器ではなく命の水をおくりたい」と考えます。

長年アフガニスタンへの農業支援を続け、亡くなった今でも現地の人々に愛されている中村医師の生き方に触れてみませんか？

5 13歳からの「ネットのルール」 誰も傷つけないためのスマホリテラシーを身につける本



- ① 小木曾健/監修
- ② メイツユニバーサルコンテンツ
- ③ 1630円
- ④ 54メ020

インターネットを利用するときのマナーやルールについてどれくらい知っていますか？本書は利用する上での大事なことを時にQ&A方式を交えながら丁寧に教えてくれます。

使い方を誤ると大きな問題になることもあるネットのルールについて、保護者と一緒に学ぶことができる一冊です。

6 宇宙マグロのすしを食べる
魔法の水「好適環境水」誕生物語



- ① 山本俊政/著
- ② 旬報社
- ③ 1500円
- ④ 66ヤ021

海水魚も淡水魚も生きることができ、魚の成長や健康維持にも効果があり、味も向上するという魔法の水「好適環境水」の誕生には、数々の失敗がありました。諦めないことの大切さや、世界が抱える問題にも目を向けるきっかけとなる本です。

7 なんで洞窟に壁画を描いたの？
美術のはじまりを探る旅



- ① 五十嵐ジャンヌ/著
中島梨絵/画
- ② 新泉社
- ③ 2000円
- ④ 70イ021

歴史が大好きな理乃は、ある日じいちゃんと一緒に、ラスコー展という展覧会を見に行きます。解説を聴いて洞窟壁画に興味を沸いた理乃は、「美術のはじまり」をテーマにしてもっと深く調べることにしました。

壁画や美術だけにとどまらず、歴史や人間についても深く考えさせられる一冊です。

8 なんで英語、勉強すんの？



- ① 鳥飼玖美子/著
- ② 岩波書店
- ③ 1450円
- ④ 83ト021

近年は、AIを使った自動翻訳機も登場する時代です。それなのに、なぜ、英語を勉強しなければならないのでしょうか。異文化コミュニケーションは、新しい世界を知るとともに自分自身の発見にもつながります。英語を学ぶ楽しさを教えてくれる本です。

9 拝啓パンクスノットデッドさま
DEAR MR. PUNKS NOT DEAD



- ① 石川宏千花/作
西川真以子/装画・挿絵
- ② くもん出版
- ③ 1400円
- ④ 91イ020

弟とバンドを組むためにメンバーを探していた夏目晴己。軽音楽部が主催する桃源フェスに参加することになります……。

晴己の弟や音楽に対する思いは、周囲の人々を前向きな気持ちにさせてくれます。自分が新しい一歩を踏み出せないとき、「またがんばろう」と元気がもらえる一冊です。

10 あしたの幸福



- ① いとうみく/著
松倉香子/絵
- ② 理論社
- ③ 1400円
- ④ 91イ021

父子家庭で育った雨音が中学2年生になったある日、父親が事故で亡くなります。雨音は、父親と住んだ家、つまり自分の居場所を守るため、一度家を出た母親を「利用」しますが……。「目に見える優しさ」だけが全てではないと感じさせてくれる一冊です。

11 そらのことばが降ってくる
保健室の俳句会



- ① 高柳克弘/作
- ② ポプラ社
- ③ 1400円
- ④ 91タ021

あることがきっかけで保健室登校になった主人公のソラ。ある日同級生のハセオと出会ったことで、俳句に興味をもち、「ヒマワリ句会」を結成するのですが……。

俳句は直接言えないことを十七音の言葉にのせて伝えることができます。本書をとおしてソラたちと俳句を詠んでみませんか？

12 ウイズ・ユー with you



- ① 濱野京子/作
中田いくみ/装画・挿絵
- ② くもん出版
- ③ 1300円
- ④ 91ハ020

中学3年生の悠人は、夜のランニングの途中、公園でブランコにぼつんと座っている一人の少女と出会います。少しずつ仲良くなっていくうちに、彼女が家族の介護をする「ヤングケアラー」であることを知り……。

社会問題や法律、福祉などに目を向けるきっかけとなってくれる一冊です。

13 はなの街オペラ



- ① 森川成美/作
坂本ヒメミ/画
井上征剛/監修・解説
- ② くもん出版
- ③ 1500円
- ④ 91モ021

時は大正時代。宇都宮で生まれたはなは、どんな歌でも一度聴いたら忘れないくらい、歌うことが大好きです。奉公先で歌の才能を見出され、その実力で浅草オペラの舞台に立つというサクセスストーリーです。自分の好きな道を信じるはなに勇気付けられます。

14 ボーダレス・ケアラー
生きてても、生きてなくてもお世話します



- ① 山本悦子/著
竹浪音羽/画
- ② 理論社
- ③ 1400円
- ④ 91ヤ021

「ボーダー」とは、亡くなったものの、死後の世界に行けず、生と死の狭間にいる存在。

海斗は、亡くなった祖母の飼い犬、豆蔵のリードを持つと、ボーダーの姿が見えることに気付きます。ボーダーたちの声に耳を傾けることで、人と人との間にある確かな優しさや、永遠の愛情を感じさせてくれる本です。

15 ミシシippi冒険記
ぼくらが3ドルで大金持ちになったわけ



- ① ダヴィデ・モロシノット/著
中村 智子/訳
- ② 岩崎書店
- ③ 1700円
- ④ 97モ021

舞台は1904年のルイジアナ州。4人の子供たちが、拾った3ドルで憧れのピストルを購入したところ、通販会社から届いたのは壊れた懐中時計でした。少年たちは懐中時計をめぐる様々な陰謀をかいくぐりながら、通販会社のあるシカゴまで旅を続けます。知恵と勇気で運命を切り拓いていく冒険記です。

1 主体的な学びを支える学校図書館

小学校・中学校の授業サポート事例から



- ① 和田幸子/著
- ② 少年写真新聞社
- ③ 2000円
- ④ 0172ワ020
(児童文化室 研究室)

学校図書館の「学習センター機能」、「情報センター機能」に焦点を当て、小・中学生へのオリエンテーションから、教科指導と連携を図った図書館の授業支援や地域との連携、教職員への働きかけまで、現場で勤務する学校司書の実践に学べる一冊です。

2 絵本専門士アナウンサーが教える心をはぐくむ読み聞かせ



- ① 杉上佐智枝/著
- ② 小学館クリエイティブ
- ③ 1300円
- ④ 0195ス020
(児童文化室 研究室)

絵本専門士の資格をもつ、現役のテレビ局アナウンサーである著者が、母親の視点を交えて書いた一冊です。

絵本の読み方へのこだわりや、絵本の選び方、読み聞かせがもたらす効果について、柔らかな文章で綴られています。

3 だいじょうぶ、絵本があります子育ての「困った」を解決する300冊



- ① 安藤宣子/著
濱野良彦/監修
- ② 海鳥社
- ③ 1600円
- ④ 5998ア021
(児童文化室 研究室)

300冊の絵本が紹介されているこの本は、絵本のガイドブックでもあり、子育てのガイドブックでもあります。7つの章にちりばめられた内容は、子育て中に誰でも一度は悩むことばかり。親の「困った。」に、「大丈夫。」と答える絵本が紹介されています。

令和4年 こどもの本 ―児童図書モデルリスト―

令和4年3月31日 発行

編集・発行 鹿児島県立図書館

〒892-0853 鹿児島市城山町7番1号

電 話 (099) 224-9514 (奉仕課企画指導係)

FAX (099) 224-5824 (代表)

HP(PC用) <https://www.library.pref.kagoshima.jp/>

HP(携帯用) <https://www.library.pref.kagoshima.jp/wo/mbp/>